

2月21日(土) 13:00～15:40

第1回 水辺の外来種研究集会 開会記念シンポジウム

～外来種問題の「水辺」へようこそ！～

司会： 片岡友美（認定NPO法人 生態工房）

【第1部 和気アイアイ防除活動】

1. はじめよう保全活動！～みんなで育む水辺コミュニティ
のんさん（365日野草生活®）
2. 外来種駆除活動に「市井の人々」を巻き込む意義と課題
茸本朗さん（野食ハンター）
3. 地元愛は池を救う 協働による水辺再生の取組
八木愛（認定NPO法人 生態工房）

【第2部 沼にハマる前に】

1. ＜特別講演＞我々はなぜ『防除』で迷走するのか？ 外来種問題への向き合い方
小坪遊さん（朝日新聞 暮らし科学医療部次長）

口頭発表

2月21日(土)

15:50～16:30

1. 全国および多摩川水系におけるアブラハヤ在来・外来系統の分布状況
西田 一也（公益財団法人 東京都環境公社）
2. 飼育下における淡水性カメ類の産卵生態 － 50年の調査からわかること－
竹田 正義（姫路市立水族館）

2月22日(日)

9:30~11:30

1. 日本における外来種としてのヌートリアの定着と被毛の特徴
ーヌートリアは口の中にも毛が生えているー
○中村 有加里(岡山理科大学)・野村 耕二・深瀬 徹・松尾 史朗
2. 名古屋市における外来カメ類の捕獲状況と課題
水野 いづみ(なごや生物多様性センター)
3. ミシシippアカミミガメの防除活動と雌雄比率に関する報告
○木谷 亮太(環境保全団体ぴおにゃーる)・名村 有史・磯部 宙・濱野 友
4. なぜ今、対話なのか。昆虫食倶楽部「ガチ!生物多様性塾」が目指す新たな探究の形
○夏目 恵介(昆虫食倶楽部)・戸田 三津夫
5. 石神井生物多様性部 活動報告:熱い想いをゆるく繋げる
水上 静香(石神井生物多様性部)
6. 東京都外来種対策行動の手引きと外来種対策リスト 2025 の公表
内山 香(東京都環境局)

13:30~15:10

7. アライグマは必ず減らせる:埼玉県丘陵地域のため池・谷津田での防除の取り組み
○小山 正人(NPO 法人 野生動物救護獣医師協会)・小山 和美・加藤 博・岡田 学
8. 利根川下流域の水田地帯におけるチャネルキャットフィッシュの食性
小林 頼太(NPO 法人 カメネットワークジャパン/千葉県ニホンイシガメ保護対策協議会)
9. 相模川支流の小出川における特定外来生物ナガエツルノゲイトウ
Alternanthera philoxeroides の分布と成長
村田 凜翔(日本大学)
10. 多摩川河川敷を対象としたアレチウリ防除活動におけるドローン観測データの
防除計画立案・防除成果把握への活用事例
畠田 将貴(せせらぎ池生物多様性保全活動 ボランティアスタッフ)
11. アカンやん!大正川に広がっていたミズキンバイ
○西堀 智子(和亀保護の会)・久米 卓美・石山 郁慧・有馬 幸男・今田 広之

2月22日(日)

15:20～16:40

12. タイ王国で確認したカメ類

○鈴木 大 (東海大学)・谷口真理・Ekgachai Jeratthitikul

13. 種子島に生息しているニホンイシガメの生息環境について

がやまる (昆虫食倶楽部)

14. ミシシippアカミミガメの闘争・求愛時の優位個体の特性解明

○野田 英樹 (帝京科学大学)・藤谷 武史・竹田 正義・松井 久実

15. ニホンイシガメは数を見分けられるのか? ～性差から探る数量弁別能力～

○小熊 淳市 (帝京科学大学)・野田 英樹

16:50～17:50

16. 「人間の生活圏におけるニホンイシガメの繁殖地」の自然共生サイト登録

○木村 妙子 (三重大学大学院)・木村 昭一・桐山 綾

17. 足立区の地形史と歴史資料から過去のニホンイシガメの分布を探る

○辻井 聖武 (千葉県ニホンイシガメ保護対策協議会)・後藤 康人

18. 江戸の町のどこにイシガメがいたのか (3)

ー 江戸時代の隅田川流域イシガメ生息地予想 ー

○後藤 康人 (八丈町地域おこし協力隊 歴史民俗資料館担当)・辻井 聖武 6

ポスター発表 2月21日(土)

掲示 12:00～

ポスターセッション 16:40～18:00

佐鳴湖の水辺で外来種問題を考える

戸田 三津夫(昆虫食倶楽部/元静岡大学/佐鳴湖いきもの調査会)

「せせらぎ池生物多様性保全活動」活動報告

○山本 鍛季(NPO法人 多摩川エコミュージアム)・小野寺 泰庸・藤井 隼・

市民科学データの外来種対策への活用の可能性

○小林 未宇(東京都環境局)・内山 香

みんなでやる外来種対策 ひょうご川活・池活隊始動!

○谷口 真理(株式会社 自然回復)・三根 佳奈子

在来種保全に向けたアライグマ対策を考える ―知見整理と協働の必要性―

渡邊 英之(埼玉西部アライグマ対策協議会)

低密度地域におけるアライグマのモニタリングおよび防除

○八木 愛(認定NPO法人 生態工房)・櫻 なさ・芦田 星・平岩 来海・藤田 陽

埼玉県における外来種トガリアメンボ(アメンボ科)の現況

○内田 大貴(大日本ダイヤコンサルタント株式会社/埼玉県立自然の博物館外部研究者/ミュージアムパーク茨城県自然博物館研究協力員)・高野 季樹

外来植物ノハカタカラクサ(トキワツユクサ)の抜き取りによる防除方法の検討

○新田 梢(麻布大学)・金丸 聡大

人口減少社会における持続可能な湿地の生態系回復手法 ～生分解性プラスチック素材のかご 罾による人手のかからないアメリカザリガニ駆除手法の開発～

○木村 楓(麻布中学校)・相原 良美

混入対策を重視したアメリカザリガニ捕獲ワナの製作

佐藤 方博(認定NPO法人 生態工房)

岐阜のオオサンショウウオを守る! ～交雑個体捕獲活動の成果・国産個体のサンクチュアリ 創出・国産個体と交雑個体の食性の違い～

小林 那奈美・吉田 みのり・佐藤 剛駆・高橋 志帆・伊藤 那緒・安藤 芽唯・河合
七香・川瀬 幸貴・田中 隆太郎・栗井 佑果・安藤 有未・藤井 飛燕・志田 和樹・
高木 雅紀(岐阜県立大垣北高等学校)

2年で根絶 やって見たら簡単だった園芸スイレン防除

○平岩 来海（認定 NPO 法人 生態工房）・佐藤 方博

兵庫県播磨町狐狸ヶ池における園芸スイレンの駆除

○三根 佳奈子（株式会社 自然回復）・谷口真理

岐阜に生息するクサガメのルーツを探る ～PCR-RFLP 解析からの知見～

○佐藤 剛駈（岐阜県立大垣北高等学校）・棚橋 洸介・岩津 奏祐・高木 雅紀

ニホンイシガメとクサガメの雑種の同一クラッチ内における形態変異

○上野 真太郎（岡山理科大学／東京大学大学院）・亀崎 直樹・岡本 研・佐野 光彦

**守るべき存在（在来種）から駆除すべき存在（外来種？）へ
～クサガメをどう扱うか、現場の苦悩と対応～**

○西堀 智子（和亀保護の会）・久米 卓美

香川県栗林公園における特異なカメ相

土手 政儀（岡山理科大学）

岡山県における淡水カメ類の分布特性

○川上 賢人（岡山理科大学院）・小森 敦介・牧江 信也・加藤 泉水・阿部 智洸・
河原 優介・杉田 溪翔・妹尾 太陽・上野 真太郎・亀崎 直樹

岡山県八塔寺周辺に生息しているニホンイシガメの環境利用

○妹尾 太陽（岡山理科大学院）・阿部 智洸・河原 優介・後藤 優也・砂場 千奈・
上野 真太郎・亀崎 直樹

日本に生息するスッポン種群の外部形態の変異

○阿部 智洸（岡山理科大学院）・亀崎 直樹・上野 真太郎

ミシシippアカミミガメの採餌特性

○杉田 溪翔（岡山理科大学院）・亀崎 直樹・上野 慎太郎